

平成14年度国立国語研究所公開研究発表会報告

著者	大西 拓一郎
雑誌名	日本語科学
巻	13
ページ	132-133
発行年	2003-04
URL	http://id.nii.ac.jp/1328/00002107/

平成14年度 国立国語研究所公開研究発表会報告

「表現法の地理的多様性—方言地図で見る表現法の世界—」

日時：平成14年12月20日(金) 午後1時30分～午後5時

会場：国立国語研究所講堂 参加者：104名

国立国語研究所では年1回「公開研究発表会」を開催している。研究発表は、原則として、その年度に実施しているさまざまな調査研究の中から、一定のテーマにそった内容の課題を数件選んで行っている。今回は、全体のテーマを「表現法の地理的多様性—方言地図で見る表現法の世界—」とした。

近年、日本語研究において方言の文法が注目されており、その研究分野における重要な研究資料のひとつが国立国語研究所編『方言文法全国地図』である。『方言文法全国地図』を利用することで、どのような地理的分布が見られるのか、それぞれにどのような方法でアプローチすればよいのか、どのような方向が新たに期待されるのか、について具体的に地図を提示しながら発表した。以下に研究発表の概要を示す。

1. 『方言文法全国地図』と表現法（大西拓一郎，研究開発部門）

最近の方言文法に関する研究の動向を報告し、研究資料としての『方言文法全国地図』ならびにそこで扱われている「表現法」に関して概要を説明した。

2. 不定・疑問を表す助辞の分布（小西いずみ，東京都立大学）

『方言文法全国地図』の不定・疑問表現に関する図を対象とし、不定・疑問を表す助辞の地理的分布について考察した。まず、256図「何か」（疑問詞疑問文）と265図「やったか」（真偽疑問文）の「か」部分を対照し、終助詞カ類が前者では九州など狭い地域に限って現れるのに対し、後者では全国的に広く分布すること等を確認した。また、253図「誰かが」など不定表現の「か」部分について、カ・ヤラ・ナト・ジャイ等の諸形式の分布と項目間の異同を整理し、考察した。

3. 推量表現の分布と地方誌情報の連結（吉田雅子，研究開発部門）

「地方誌情報」を「各地域の言語および言語に関わる記述情報」と定義づけ、そのデータと、『方言文法全国地図』のデータを補完・融合・共有させることを推量表現に関して試みた。事例として中部地方に分布する（ズ）ラ系の推量表現形式を取り上げ、その使用地域を対象に記述した地方誌情報と『方言文法全国地図』のデータを比較して、得られる知見の例を示した。さらに方言データが将来的には「空間情報」として扱われるであろうことを述べた。

4. 命令表現の分布と場面差（三井はるみ，研究開発部門）

命令表現の地理的バリエーションを対象とする研究の広がりを視野に入れながら、『方言文法全国地図』第5集所収の命令表現項目（209～214図「起きろ（やさしく）」「起きろ（きびしく）」、221～224図「行くなよ（やさしく）」「行くなよ（きびしく）」）の地図によって、命令表現の地理的分布と場面差を概観・解説した。終助詞を伴わない命令形を用いやすい地域、否定疑問形式な

どほかの表現類型を用いる地域などが認められた（図参照）。

5. 方言表現法の分布類型と分布形成（大西拓一郎，研究開発部門）

『方言文法全国地図』をもとにして，方言文法の分布に見られる類型を整理し，それぞれの類型を形成する歴史的背景を考察した。類型の中でも基本的な形でありながら解釈が困難な東西対立に注目し，東日本をいったんマスクする形で解釈を進める「Eマスク法」を提唱した。また，Eマスク法を拡張することで，東西の対立が成立した年代にまで接近できる可能性があることを具体的に地図や計算式を表示する形で報告した。

- 活用形類
 - オキロ
 - オキレ
 - ウキル
 - ウキリ
 - ウキレー
 - オキヨ(←)
 - オキヨ(→)
 - オキー
 - オキ
 - オキルンダ
- 敬語類
 - △ オキナサイ・オキナハレ
 - ▽ オキナ
 - ▲ オキラレ・オキライン
 - ▲ オキラッセ・オキヤンセ
 - オキヤガレ
- 否定疑問類
 - (オキナイ・オキン・オケン・
 - オキラン・ウキラン・オキヤン)
 - 疑問終助詞
 - Y ーカ
 - λ ーノカ
 - T ーカイ・ケ
 - T ーナ・ニ・ネ・ノ・ヤ・レ
 - ♀ ージー・なし
 - † ウキランドゥアル
- 依頼類
 - ◆ オキテクレ
- 勧め類
 - ♯ オキタライイ・オキタラドーダ
- 状況提示類
 - ノ オキナケレバナラナイ
 - ＼ オキナイトオクレル
- 状況問いかけ類
 - ※ ナゼオキナインダ
 - ☒ イツマデネテルンダ
 - ☒ オキタカ
- * その他
- 無回答

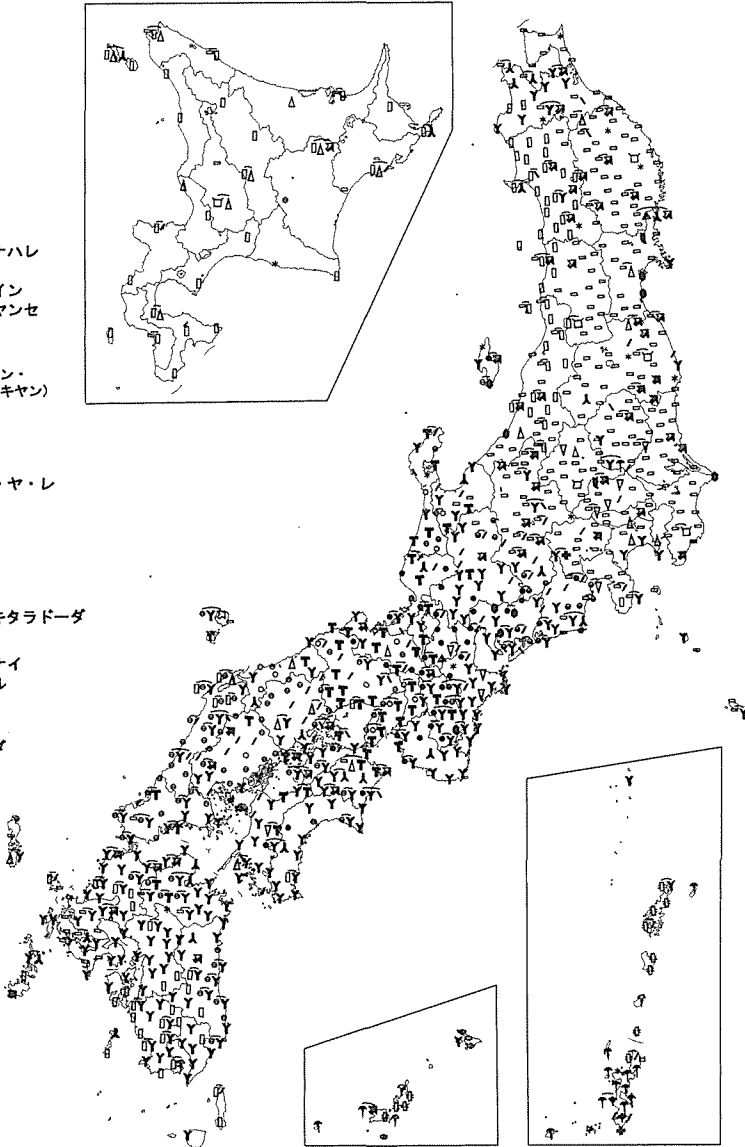


図 起きる（きびしく）—終助詞を除いた部分— 『方言文法全国地図』212・213図より

大西拓一郎（研究開発部門）